

フラワーグラフィックサービス「花屋さんのお花柄」から 「2025年SS新作フラワーパターン」を発表 メインテーマは『Coexistent Blooms～花々の共存～』 7月3日(水)から「第15回 ライセンシング ジャパン」に出展

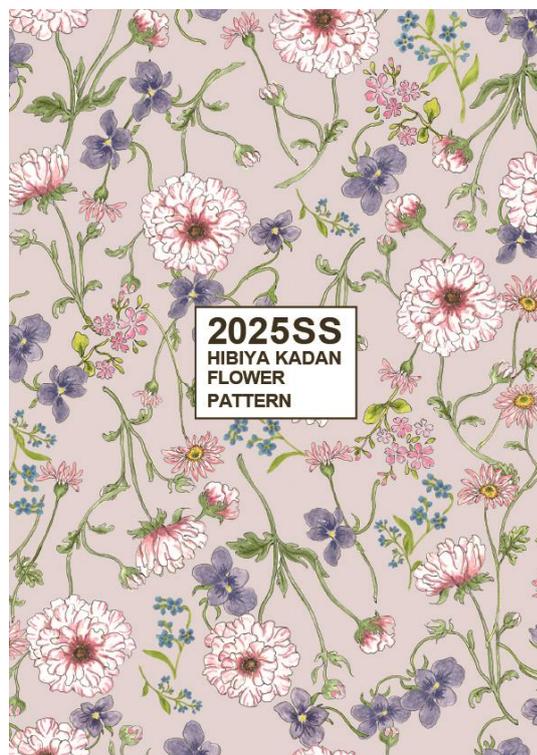
株式会社日比谷花壇(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮島浩彰)は、四季折々の花やみどりの良さを存分に引き出した、花屋だからこそできるフラワーグラフィックサービス「花屋さんのお花柄」で、「2025年SS新作フラワーパターン」(※)を2024年5月14日(火)に発表し、アパレルや文具、雑貨、食品など様々な業界の企業に向けて提案します。

■「2025年SS新作フラワーパターン」詳細:<https://hk-business.biz/lib/pdf/documents/HIBIYAFLOWERPATTERN-2025ss.pdf>

「2025年SS新作フラワーパターン」は、『Coexistent Blooms～花々の共存～』をメインテーマに、多様性の中で、個々の輝く魅力が美しい調和を奏でる、花々の躍動を花柄によって表現しています。今回は、日比谷花壇が誇るデザイナー4名による4シリーズ、計8パターンを発表します。

デザイナー石井千花による「Floral Symphony」は、春の花・ラナンキュラスを中心に、花々が美しい音楽のように織りなす姿をデザインしています。デザイナー西澤真美子による「Floral Kaleidoscope Fusion」は、様々な花によるモチーフを万華鏡のように重ね合わせたデザインが特徴的です。デザイナー若月佑香による「Harmony in Bloom」は、アネモネやパンジーをはじめとした異なる表情の花々が一面に広がり、まるで一つの美しい庭園を思わせるような花柄となっています。デザイナー伊勢谷早紀による「Delicate Geometry」は、風にそよぎ儚く揺れ動く、アリウムやミモザなどの繊細なラインを活かしたデザインとなっています。

これら花柄は、来年のデザイントレンドに沿ったカラーで、花やみどりの魅力を知り尽くすプロのフローリスト・デザイナーが描く、生命力あふれるフラワーグラフィックとなっています。イラストレーションタイプとフォトタイプのご用意があり、ご利用いただく商品やサービスに相応しいパターンをお選びいただけます。



当社は、長年のノウハウをもとに、生産から企画、コンセプトメイキング、販売などの総合的なプロデュースを手掛ける、フラワーグラフィックサービス「花屋さんのお花柄」を提供しています。四季折々の花やみどりの良さを存分に引き出した「花屋さんのお花柄」では、多くの企業向けにオリジナルのフラワーデザインをゼロから制作し、広告やパッケージ、商品のイメージに叶うオリジナルフラワーデザインの監修、商品化まで、それぞれのニーズに応じたサービスを展開しています。

■日比谷花壇 フラワーグラフィックサービス「花屋さんのお花柄」について:<https://www.hk-business.biz/flowerpattern/>

(※)「2025年SS新作フラワーパターン」のメイン柄は、「第15回 ライセンシング ジャパン」の当社出展ブースにて発表予定。

株式会社日比谷花壇について:<https://www.hibiya.co.jp/>

1872年創業、1950年に東京・日比谷公園本店の出店後、株式会社日比谷花壇を設立。現在、全国約190拠点で展開。ウエディング装花、店舗及びオンラインショップでの個人/法人向けフラワーギフト・カジュアルフラワーの販売、お葬式サービス、緑を通じた暮らしの景観プロデュース、フラワーグラフィックサービス、地域のまちづくり事業等を行っています。今後も花や緑の販売、装飾にとどまらず、暮らしの明日を彩り、豊かなものへと変えていく提案を続けていきます。

別紙

《コンテンツ東京 2024 夏／「第 15 回ライセンスジャパン」 出展概要》

会期：2024 年 7 月 3 日(水)～7 月 5 日(金)

会場：東京ビッグサイト(西展示棟)

小間番号：28-52

内容：様々な企業とこれまでにコラボレーションした商品や花柄の展示をはじめ、当社のフラワーグラフィックサービス概要をご紹介します。「2025 年 SS 新作フラワーパターン」のメイン柄は、「第 15 回 ライセンス ジャパン」の当社出展ブースにて発表予定です。

「第 15 回ライセンスジャパン」公式サイト：<https://www.content-tokyo.jp/>

以上